

令和4年度行政事業レビューシート (総務省)

事業名	総合無線局監理システムの制度改正等対応			担当部局庁	総合通信基盤局電波部		作成責任者			
事業開始年度	平成5年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	電波政策課電波利用料企画室		室長 寺岡 秀礼			
会計区分	一般会計									
根拠法令(具体的な条項も記載)	電波法第103条の2第4項第2号			関係する計画、通知等	・デジタル社会の実現に向けた重点計画(R4.6.7閣議決定) ・総務省デジタル・ガバメント中長期計画(R2.3.31CIO連絡会議決定)					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	無線局データベースを基盤とした全国規模の総合的な業務処理システムについて、近年急速に無線局が増加し、無線局監理事務の増大が見込まれる中、運用コストの抑制を図りながら同システムの継続的かつ安定的な運用を確保するとともに、システムの高度化等を実現することにより、無線局監理事務の効率化、無線局免許人への行政サービスの向上等を実現することを目的とする。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	総合無線局監理システムの活用により、年々増加する無線局の免許処理等(年間約30~60万件)を迅速かつ効率的に実施。また、国民(電波の利用者)に対しては、同システムを通じて、無線局免許申請等に有効な各種関連情報を提供している。本事業は、無線局監理事務に係る制度改正等に伴うシステム改修等を行うものである。									
実施方法	委託・請負									
予算額・執行額(単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
	予算の状況	当初予算	4,384	2,051	2,005	1,991	1,484			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	0			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計		4,384	2,051	2,005	1,991	1,484			
	執行額		3,955	1,985	1,499	-				
執行率(%)		90%	97%	75%	-					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		90%	97%	75%	-					
令和4・5年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由						
	電波監視等業務庁費	1,991	1,484	システムの刷新を控えているため、刷新前に改修が必要となる制度改正案件の精査を実施し、その結果減額となっている。						
	計	1,991	1,484							
活動内容(アクティビティ)	無線局監理事務に係る制度改正等に伴う、総合無線局監理システムのシステム改修等を行う。									
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	総合無線局監理システムのアプリケーションの改修等	開発したプログラム等の不具合発生件数。(重度な不具合)	活動実績	件	0	0	0	-	-	
			当初見込み	件	4	4	4	4	4	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	1改修項目単位当たりのコスト(単純平均により算出)=当年度制度改正費用(百万円)/当年度改修項目数			単位当たりコスト	百万円	65.4	47.4	40.9	64.4	
				計算式	制度改正費用(百万円)/項目数	3,922/60	1,894/40	1,472/36	901/14	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度	
	電子申請率(無線局の免許/再免許申請等)の向上個人:50%以上(令和2年度~令和4年度の平均)	個人からの申請における、無線局の免許/再免許等の電子申請率	成果実績	%	58.5	61.6	64.3	-	-	
			目標値	%	50	50	50	50	-	
			達成度	%	117	123.2	128.6	-	-	
根拠として用いた統計・データ名(出典)	「デジタル・ガバメント推進標準ガイドライン」(令和4年4月20日 デジタル社会推進会議幹事会決定)									

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	V. 情報通信 (ICT政策)			
		施策	5. 電波利用料財源による電波監視等の実施		政策評価書 URL https://www.soumu.go.jp/main_content/000766421.pdf	
	新経済・財政再生計画改革工程表	取組事項	分野:	-		
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-		
		該当箇所	-			
事業所管部局による点検・改善						
国費投入の必要性	項目		評価	評価に関する説明		
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	本事業は、近年急速に無線局が増加し、無線局監理事務の増大が見込まれる中、無線局監理事務の効率化、無線局免許人への行政サービスの向上等を実現することを目的としていることから、国民や社会のニーズを的確に反映している事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	本事業は、国による電波監理行政の適正な業務執行のために必要なものであり、国が実施すべき事業である。		
事業の効率性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	無線局数が前年から約1,500万局増と年々増加傾向にあり、電波利用に対する国民ニーズが着実に伸びている中、電波監理行政の業務執行の基盤となる本システムの開発、安定的な運用は、優先度が高い事業である。		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	調達に必要かつ十分な期間を確保しての一般競争入札を主に起用しているが、一部の案件につき一者応札であったため、次回以降の調達に当たっては、見積書取得事業者の入札への参加を促すとともに、関連事業者へ広く情報提供を行い、競争参加者の掘り起こしを図る。		
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		有			
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	本システムは、電波監理行政の業務執行の基盤となるものであり、電波の適正な利用の確保に資するものであることから、受益と負担の関係は妥当である。		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	単位当たりコスト(1改修項目単位当たりのコスト)は過去と比較して低下していることから妥当である。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	電波法第103条の2第4項第2号の総合無線局管理ファイルの作成及び管理に関するものであり、事業目的に即し真に必要なものに限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	予定していた案件の調達については、令和6年度以降の段階的なシステム更改で実施することとなり、今後も、直近の改修案件については、段階的なシステム改修での可能性について精査することが妥当である。		
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	現行システムにおいて、短期的にコスト削減を図ることは困難であり、後継システムの更改において、随時最新技術の動向を踏まえつつ、コスト削減を図る。			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	本実績及び目標は、デジタル・ガバメント実行計画に従い設定したものであることから、成果目標に見合ったものである。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	1改修項目単位当たりのコストは下がっており、効率的な改修がなされていると判断される。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	本システムは、電波監理業務に係る日常業務、及び24時間365日の無線局の電子申請受付、無線局に係る一般情報提供などにおいて、十分に活用されている。		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	本事業は、無線局監理事務に係る制度改正に対応し、総合無線局監理システムの改修を行う等の対応を行うもの。関連事業は、段階的に総合無線局監理システムを構築・更改するとともに、同システムの安定した運用により、年々増加する無線局の免許処理等(年間約30~60万件)を迅速かつ効率的に実施するもの。		
	事業番号		事業名			
	2022	総務 21 0117	総合無線局監理システムの構築と運用			

点検・改善結果	点検結果	・総合無線局監理システムは、年々増加傾向にある無線局の監理・監督を適正に行うため、継続的かつ安定的に運用するとともに、制度改正等に伴う機能改修を行っていくことが必要。
	改善の方向性	・同システムの運用経費については、システムの更新時期、技術動向等を捉えながら、サーバの一層の共用化、データベースの統合化などにより、費用対効果の高いシステムの実現を図る。 ・主な調達については、「デジタル・ガバメント推進標準ガイドライン」(令和4年4月20日 デジタル社会推進会議幹事会決定)を踏まえて一般競争入札による調達を実施していくほか、システム開発等における工程管理支援事業者等を活用し、予算の適正かつ効率的な執行に努める。

外部有識者の所見

点検対象外口

行政事業レビュー推進チームの所見

事業内容の一部改善の	更なる経費の効率化を図り、適正な予算執行に努めること。
------------	-----------------------------

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

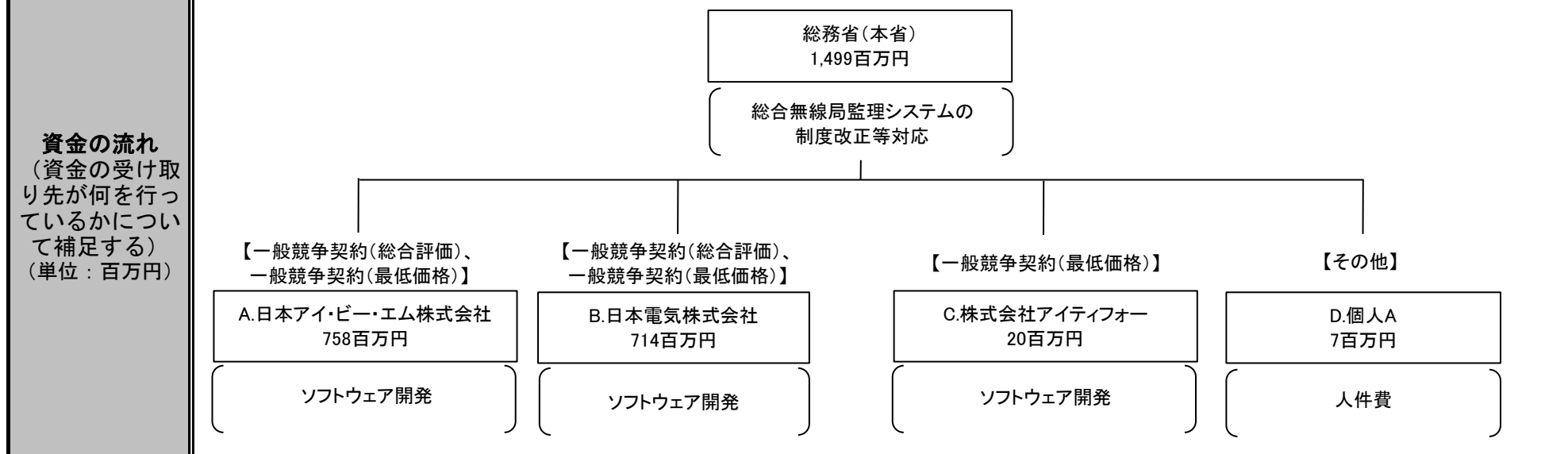
執行等改善	制度改正等に伴うシステムの機能改修に係る予算については、要求・執行の段階において総務省担当デジタル統括アドバイザー等に相談し、レビューを受けた上で調達手続を進めているところである。引き続き、更なる経費の効率化を図り、適切な予算執行に努めて参りたい。
-------	--

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	0117			
平成24年度	0112			
平成25年度	0118			
平成26年度	0117			
平成27年度	0115			
平成28年度	0112			
平成29年度	0115			
平成30年度	0104			
令和元年度	総務省 - 0118			
令和2年度	総務省 0123			
令和3年度	2021 総務 20 0122			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・用途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と用途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.日本アイ・ビー・エム株式会社			B.日本電気株式会社		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	人件費	ソフトウェア開発	758	人件費	ソフトウェア開発	714
	計		758	計		714
	C.株式会社アイティフォー			D.個人A		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
人件費	ソフトウェア開発	20	賃金	人件費	7	
計		20	計		7	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本アイ・ビー・エム 株式会社	1010001128061	総合無線局監理システム 基幹系機能拡充 設計・開 発等の請負(2021年度 第 2期)	677	一般競争契約 (総合評価)	1	99.5%	-
2	日本アイ・ビー・エム 株式会社	1010001128061	総合無線局監理システム 基幹系機能拡充 設計・開 発等の請負(2021年度 第 1期)	81	一般競争契約 (最低価格)	1	99.1%	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本電気株式会社	7010401022916	総合無線局監理システム 情報系機能拡充 設計・開 発等の請負(2021年度 第 2期)	609	一般競争契約 (総合評価)	1	99.6%	-
2	日本電気株式会社	7010401022916	総合無線局監理システム 情報系機能拡充 設計・開 発等の請負(2021年度 第 1期)	105	一般競争契約 (最低価格)	1	99.6%	-

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社アイティ フォー	3010001022865	総合無線局監理システム ロボティクス・プロセス・ オートメーション・アプリ ケーションの保守業務の請 負(2021年度)	20	一般競争契約 (最低価格)	1	97.8%	-

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	人件費	7	その他	-	-	-